

大谷龍雄 議員

デマンド型乗合タクシー利用に 関する事前連絡の改善について

大谷 五條市のデマンドタクシーを利用する場合は全て前日に連絡し予約しなければいけないことになっているが、当日急な用事で利用したくても利用できない。吉野町のデマンドタクシーは朝一番のダイヤのみ前日予約が必要で、二番目からは約1時間前の予約で利用してもらっている。五條市も吉野町のやり方でやれないか検討するべきではないか。

市長公室長 五條市は利用人数に応じた配車や委託料の関係で実証運行期間に限り、前日予約制をとっているが、来年は五條市公共交通総合連携計画の見直し時期となっているので、利用者にとってより使いやすい方法を検討していきたい。

鳥獣被害防止対策の強化について

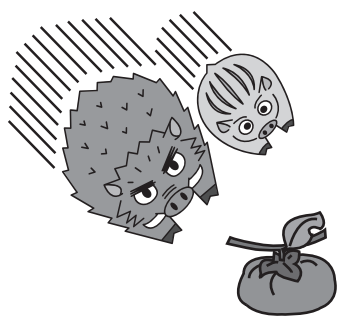
大谷 五條市の捕獲体制としてはイノシシ、鹿の捕獲おりは68基、ニホンザルの捕獲おりは2基、職員は正職員2名と臨時職員1名で、約この1年での捕獲は、イノシシで284頭、鹿で128頭、アラ

イグマで131頭捕獲してくれている。また、被害防除では、年間1,500万円の予算内で金網柵、ネット柵、電気柵を自治会等からの要望で昨年は13地区で約10キロメートルの侵入防止柵を設置してくれているが、被害の状況は広がっているのではないかと。

さらに実績を上げてもらうには、捕獲おりは重い山奥まで運べないので組立て式にして職員の負担を軽くする必要があるのではないか。

また、金網柵等の補助率を上げるべきではないか。

産業環境部長 丹精込めて作った農作物をイノシシ等に食い荒らされ、農業意欲を損なわれていますので、更なる被害の防止を目指し組立て式の捕獲おりの採用も含め検討していく。
(古紙やビンの無料回収の実現についても質問しました。)



中小企業の再生・活性化策の 充実・強化を求める意見書

中小企業を取り巻く環境は、長引くデフレを始め、欧州や中国向け需要の低下による輸出減などの影響を受け、依然として厳しい状況が続いています。

2012年10－12月期の中小企業景況調査によると「製造業は前期比で横ばい」とし、製造業を中心に業況は足踏み状態といえます。

こうした状況下での中小企業に対する支援策は、金融支援だけでは不十分で、再生・活性化策が極めて重要となっています。例えば、地元の各金融機関がコンサルティング能力を発揮して、中小企業の主体的な取組と経営再建意欲を促すようにするなど、経営改善につながる支援施策なども必要です。

政府が目指している「強い経済」を取り戻すには、地域経済の活性化が不可欠であり、そのためにも中小企業の再生・活性化策は急務です。昨年8月に施行された「中小企業経営力強化支援法」では、商工会や公認会計士、税理士、診断士などを認定支援機関として位置付け、経営支援体制を構築するとしており、これが十分に機能すれば中小企業の経営改善が期待できます。併せて、地域の金融機関による地元中小企業に対する支援体制を強化することが重要です。

よって、政府におかれては以下の事項について早急な対策を講ずるよう求めます。

記

- 1 全国的な中小企業支援ネットワークの整備とともに、認定支援機関の整備を図るなど総合的かつ、きめの細かい経営支援体制の充実を図るとともに、中小企業への周知徹底、フォローアップに万全を期すこと。
- 2 地域の金融機関のコンサルティング能力及び支援体制を強化し、中小企業の経営改善を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年3月22日

五條市議会



中小企業診断士